

第1章 基本的な考え方			
宮城県男女共同参画基本計画（第4次）の基本的な考え方		宮城県男女共同参画基本計画（第5次）の基本的な考え方【案】	
1	<p>1 計画策定の趣旨</p> <p>平成13年8月1日から、宮城県男女共同参画推進条例（平成13年宮城県条例第33号。以下「条例」という。）が施行されました。条例は、すべての県民の人権が平等に保障され、男女が共に責任を分かち合う社会を構築していくため、男女共同参画社会の早期実現を目指すことを決意して制定されたものです。</p> <p>条例の規定に基づき、平成15年3月には「宮城県男女共同参画基本計画」（以下「第1次基本計画」という。）を策定しました。平成23年3月には第2次基本計画、平成28年3月には第3次基本計画を策定し、男女共同参画社会の実現の取組を総合的かつ計画的に推進してきました。</p> <p>男女共同参画の取組は少しずつ広まってきていますが、固定的な性別役割分担意識、性差に関する偏見や社会制度・慣行等は根強いものがあり、依然として男女共同参画の理念が県内全域に浸透しているとは言えない状況です。</p> <p>また、人生100年時代に向けて、その時々的人生ステージにおいて全ての人が、それぞれの希望に応じた様々な働き方、学び方、生き方を選べるようになることが必要です。</p> <p>このため、性別に関わらず全ての人の人権が尊重され、尊厳を持ってだれもがその個性と能力を十分に発揮し、生きがいを持って生活できる男女共同参画の理念及び推進の必要性を県民に広く普及啓発し、男女共同参画社会の形成を促進すべく、男女共同参画基本計画（第4次）（以下「基本計画」という。）を策定します。</p> <p>なお、基本計画は、平成11年6月23日から施行された男女共同参画社会基本法（平成11年法律第78号）第14条第1項の規定により都道府県が定めなければならないこととされている都道府県男女共同参画計画でもあり、本計画のうち第3章4の「職場における男女共同参画の実現」の項を中心に、平成27年9月4日から施行された女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（平成27年法律第64号）第6条第1項に基づく本県の推進計画として位置付けます。</p> <p>また、平成27年9月の国連サミットで採択された持続可能な開発目標（SDGs）は「誰一人取り残さない」を理念に、持続可能で多様性と包摂性のある社会を実現するための17のゴール、169のターゲットが定められており、このSDGsに掲げられたゴール5「ジェンダー平等を実現しよう」をはじめとした全てのゴールの達成に寄与します。</p> <p>さらに、本計画は新・宮城の将来ビジョンを踏まえた部門別計画であり、関連する計画と連携を図りながら、宮城県の男女共同参画を積極的に進めるものとします。</p>	1	<p>1 計画策定の趣旨</p> <p>平成13年8月1日から、宮城県男女共同参画推進条例（平成13年宮城県条例第33号。以下「条例」という。）が施行されました。条例は、すべての県民の人権が平等に保障され、男女が共に責任を分かち合う社会を構築していくため、男女共同参画社会の早期実現を目指すことを決意して制定されたものです。</p> <p>条例の規定に基づき、平成15年3月には「宮城県男女共同参画基本計画」（以下「第1次基本計画」という。）を策定しました。平成23年3月には第2次基本計画、平成28年3月には第3次基本計画、<u>令和3年3月には第4次基本計画を策定し、</u>男女共同参画社会の実現の取組を総合的かつ計画的に推進してきました。</p> <p>男女共同参画の取組は少しずつ広まってきていますが、<u>アンコンシャスバイアスと言われる</u>固定的な性別役割分担意識、性差に関する偏見や社会制度・慣行等は根強いものがあり、依然として男女共同参画の理念が県内全域に浸透しているとは言えない状況です。<u>日本では、少子化に伴う人口減少が当初の予想よりもはるかに速いスピードで進んでいます、宮城県でも、少子化だけでなく、女性の都市圏への人口流出が大きな問題となっています。その要因の一つとしてアンコンシャスバイアスの影響が指摘されており、女性に魅力のある宮城になるためには、アンコンシャスバイアスの解消にさらに注力していく必要があります。</u></p> <p>また、人生100年時代に向けて、その時々的人生ステージにおいて全ての人が、それぞれの希望に応じた様々な働き方、学び方、生き方を選べるようになることが必要です。</p> <p>このため、性別に関わらず全ての人の人権が尊重され、尊厳を持ってだれもがその個性と能力を十分に発揮し、生きがいを持って生活できる男女共同参画の理念及び推進の必要性を県民に広く普及啓発し、男女共同参画社会の形成を促進すべく、男女共同参画基本計画（第5次）（以下「基本計画」という。）を策定します。</p> <p>なお、基本計画は、平成11年6月23日から施行された男女共同参画社会基本法（平成11年法律第78号）第14条第1項の規定により、都道府県が定めなければならないこととされている都道府県男女共同参画計画でもあり、本計画のうち第3章4の「<u>職場様々な働く場</u>における男女共同参画の実現」の項を中心に、平成27年9月4日から施行された女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（平成27年法律第64号）第6条第1項に基づく本県の推進計画として位置付け、<u>持続可能な開発目標（SDGs）の達成に寄与</u>します。</p> <p>また、平成27年9月の国連サミットで採択された持続可能な開発目標（SDGs）は「誰一人取り残さない」を理念に、持続可能で多様性と包摂性のある社会を実現するための17のゴール、169のターゲットが定められており、このSDGsに掲げられたゴール5「ジェンダー平等を実現しよう」をはじめとした全てのゴールの達成に寄与します。</p> <p>さらに、本計画は新・宮城の将来ビジョンを踏まえた部門別計画であり、関連する計画と連携を図りながら、宮城県の男女共同参画を積極的に進めるものとします。</p>
2	<p>2 基本計画の期間</p> <p>令和3年度から令和7年度までの5年間とします。</p>	2	<p>2 基本計画の期間</p> <p>令和<u>8</u>年度から令和<u>12</u>年度までの5年間とします。</p>

宮城県男女共同参画基本計画（第4次）の基本的な考え方		宮城県男女共同参画基本計画（第5次）の基本的な考え方【案】	
3	<p>3 基本計画の内容</p> <p>条例第7条の規定により、以下の事項について定めます。</p> <p>（1）総合的かつ長期的に講ずべき男女共同参画の推進に関する施策の大綱</p> <p>（2）（1）のほか、男女共同参画の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進するために必要な事項</p>	3	<p>3 基本計画の内容</p> <p>条例第7条の規定により、以下の事項について定めます。</p> <p>（1）総合的かつ長期的に講ずべき男女共同参画の推進に関する施策の大綱</p> <p>（2）（1）のほか、男女共同参画の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進するために必要な事項</p>
4	<p>4 基本計画への取組</p> <p>基本計画においては、県の現状及び課題を明らかにし、基本目標を定め、数値目標を掲げて、男女共同参画の推進に関する施策に取り組んでいくこととします。また、条例第16条の規定により、毎年、男女共同参画の推進状況及び男女共同参画の推進に関する施策の実施状況を明らかにする報告書を作成し、公表します。</p>	4	<p>4 基本計画への取組</p> <p>基本計画においては、県の現状及び課題を明らかにし、基本目標を定め、数値目標を掲げて、男女共同参画の推進に関する施策に取り組んでいくこととします。また、条例第16条の規定により、毎年、男女共同参画の推進状況及び男女共同参画の推進に関する施策の実施状況を明らかにする報告書を作成し、公表します。</p>
5	<p>5 基本計画の推進</p> <p>社会のあらゆる分野において、男女共同参画を推進していくために、県のすべての事業について、男女共同参画の視点に配慮することを推進します。また、市町村、県民、事業者及びNPO等各種団体の理解と協力を得るとともに、家庭、職場、地域における県民及び事業者の自主的な活動及び男女共同参画社会の実現の取組への積極的な参加を働きかけます。</p>	5	<p>5 基本計画の推進</p> <p>社会のあらゆる分野において、男女共同参画を推進していくために、県のすべての事業について、男女共同参画の視点に配慮することを推進します。また、市町村、県民、事業者及びNPO等各種団体の理解と協力を得るとともに、家庭、職場、地域における県民及び事業者の自主的な活動及び男女共同参画社会の実現の取組への積極的な参加を働きかけます。</p>
6	<p>6 基本計画の構成</p> <p>第1章においては基本計画の基本的な考え方を、第2章においては県の現状を、第3章においては男女共同参画実現のための施策を、第4章においては基本計画の推進体制を示しました。</p> <p>また、第3章の男女共同参画実現のための施策をより分かりやすくするため、社会全体、家庭、学校教育、職場、農林水産業・商工自営業、地域及び防災・復興の分野に分け、これらの分野ごとに現状及び課題を分析し、目指すべき目標を掲げ、並びに具体的な施策を示しました。さらに、東日本大震災からの再生に向けた取組や、新型コロナウイルス感染症に伴う影響と現状についても記載しています。</p> <p>男女共同参画の推進に関する施策は、分野ごとにそれぞれ単独で完結するものではなく、相互に関連し合い、男女共同参画社会の実現に影響を与えるものです。</p>	6	<p>6 基本計画の構成</p> <p>第1章においては基本計画の基本的な考え方を、第2章においては県の現状を、第3章においては男女共同参画実現のための施策を、第4章においては基本計画の推進体制を示しました。</p> <p>また、第3章の男女共同参画実現のための施策をより分かりやすくするため、社会全体、家庭、学校教育、職場働く場、農林水産業・商工自営業、地域及び防災・復興の分野に分け、これらの分野ごとに現状及び課題を分析し、目指すべき目標を掲げ、並びに具体的な施策を示しました。さらに、東日本大震災からの再生に向けた取組や、新型コロナウイルス感染症に伴う影響と現状についても記載しています。</p> <p>男女共同参画の推進に関する施策は、分野ごとにそれぞれ単独で完結するものではなく、相互に関連し合い、男女共同参画社会の実現に影響を与えるものです。</p>

宮城県男女共同参画基本計画（第4次）の基本的な考え方		宮城県男女共同参画基本計画（第5次）の基本的な考え方【案】	
7	7 計画の体系	7	7 計画の体系
	男女共同参画の推進に関する施策		男女共同参画の推進に関する施策
	男女共同参画の推進に関する施策の方向		男女共同参画の推進に関する施策の方向
	1 社会全体における男女共同参画の実現－女性の活躍を推進するために－		1 社会全体における男女共同参画の実現 <u>－アンコンシャスバイアスの解消に向けて－</u>
	(1) 政策・方針決定過程への女性の参画の促進		(1) 政策・方針決定過程への女性の参画の促進
	(2) 男女共同参画に関する普及啓発活動の充実		(2) 男女共同参画に関する普及啓発活動の充実
	(3) 男性及び若い世代に向けた普及啓発の推進		(3) 男性及び若い世代に向けた普及啓発
	(4) 女性に対するあらゆる暴力の根絶		(4) 女性に対するあらゆる暴力の根絶
	(5) 多様な困難を抱える女性や若い世代への支援		(5) 多様な困難を抱える女性や若い世代への支援
	(6) 調査・研究及び情報の収集・提供の充実		(6) 調査・研究及び情報の収集・提供の充実
	(7) 相談体制の整備・強化		(7) 相談体制の整備・強化
	2 家庭における男女共同参画の実現－男性の家事・育児・介護への更なる参画－		2 家庭における男女共同参画の実現 <u>－家事・育児・介護における男性活躍の促進－</u>
	(1) 共に築く家庭生活への支援		(1) 共に築く家庭生活への支援
	(2) 育児及び介護に関する社会的支援の充実		(2) 育児及び介護に関する社会的支援の充実
	(3) DV（配偶者等からの暴力）の根絶		(3) DV（配偶者等からの暴力）の根絶
	(4) 人生100年時代に向けた心と体の健康づくりへの支援		(4) 人生100年時代に向けた心と体の健康づくりへの支援
	3 学校教育における男女共同参画の実現－共生と自立をめざして－		3 学校教育における男女共同参画の実現 <u>－多様な進路選択を可能にする教育の推進－</u>
	(1) 男女共同参画に関する理解の促進		(1) 男女共同参画に関する理解の促進
	(2) キャリア教育の推進と人材育成		(2) キャリア教育の推進と人材育成
	(3) 健康のための教育の推進		(3) 健康のための教育の推進
	4 職場における男女共同参画の実現－男女が共に学び・活躍し続けるために－		4 <u>様々な働く場</u> における男女共同参画の実現 <u>－女性が生き生きと活躍するために－</u>
	(1) 職場における女性の参画の促進		(1) 職場における女性の参画の促進
	(2) ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進		(2) <u>農林水産業・商工自営業における男女共同参画の推進</u>
	(3) 職業能力開発及び学びなおしの支援		(3) ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進
	5 農林水産業・商工自営業における男女共同参画の実現－女性の地位や権限の確立をめざして－		(4) <u>リスキリングの促進及びリスタートの支援</u>
	(1) 経営や方針決定過程への女性の参画促進		5 地域における男女共同参画の実現 <u>－誰もが自分らしく生きることができる社会－</u>
	(2) 起業・事業承継への支援の充実		(1) 市町村における男女共同参画の推進の支援
	6 地域における男女共同参画の実現－多様な主体との連携・学び合い－		(2) 地域活動における男女共同参画の促進
	(1) 市町村における男女共同参画の推進の支援		(3) 高齢者、障害者、単身者等の自立支援
	(2) 地域活動における男女共同参画の促進		(4) 国際的な視野及び「多文化共生」の視点の確立
	(3) 高齢者、障害者、単身者等の自立支援		6 防災・復興における男女共同参画の実現－ <u>頻発する大規模災害</u> に備える多様な視点－
	(4) 国際的な視野及び「多文化共生」の視点の確立		(1) 地域防災計画の策定など、意思決定の場における女性の参画の推進
	7 防災・復興における男女共同参画の実現－平常時から備える多様な視点－		(2) 男女共同参画や多様な視点での防災意識の啓発及び安全・安心な暮らしの確保
	(1) 地域防災計画の策定など、意思決定の場における女性の参画の推進		(3) 地域における防災・復興の担い手としての女性の力の活用
	(2) 男女共同参画や多様な視点での防災意識の啓発及び安全・安心な暮らしの確保		
	(3) 地域における防災・復興の担い手としての女性の力の活用		